

2026.7.9

令和 8 年度 第 1 回明石市立和坂小学校校内桜守活動報告

文責（藤原・和田）

- 1, 活動日時：2026 年 7 月 9 日 9 時 30 分～13 時晴後曇り
- 2, 活動場所：明石市立和坂小学校
- 3, 活動人員：和坂小学校（先生 2 名・小学校 3 年生 2 組×4 班）
明石公園桜守ボランティア(3 名)
和坂小学校サポーター（8 名）
兵庫県樹木医会樹木医（2 名）

4, 内容

・さくらカルテづくり

1) さくらの概況

① ～⑨、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯～㉑、㉒、㉓、㉔番の 20 本について
8 班編成で観察し、さくらカルテづくりを行った。

先端部を切除した 2～3 本は枝葉密度が低くやや不良であったが、他のほとんどの桜は良好であった。

2) 土の硬さ(7mm 以下：やわらかく良くない、8～25mm：ちょうどよい硬さ、26mm 以上：硬くてよくない)

表層の土の硬さは、一部やわらかく良くない部分（7mm 以下）や、硬くてよくない部分（26mm 以上）があったが、ほとんどの地点は、良好な土の硬さ（ちょうどよい）（8mm～25mm）であった。

ただし、深さ 20 c m以深では、非常に硬い層（26mm 以上）がほとんどであった。

3) 幹の太さ(周径 cm)

28 番は地上 35cm 地点で枝分かれしているサトザクラ 1 本は 35cm で測定した。他すべては、1m 地点で測定した。推定 30cm～90 c m

4) 木の高さ (m)

推定樹高は、2～9 m

5) 枝・葉（枯れ枝、葉数、新芽）

28 番の桜にヒロヘリアオイラガが 100 個体以上葉の裏や幹に発生及びツヤアオカメムシ 1 個体が見られた。

先端部切除した 19 番は、胴吹きが少なく、枝密度が疎であるで衰退傾向にあった。

昨年幹にキノコが生育していたため削り取り殺菌処理をした桜（16 番）は回復し、良好であった。

その他の桜は枯れ枝が 2～3 本ある程度でほとんどの桜は良好であった。

6) 幹（樹肌、コケ）

細くて若い桜には、コケ類の発生は見られないが、直径 25cm 以上の桜には、ウメノキゴケ等地衣類が着生していた。

7) 根元（土の硬さ、根の様子、ダンゴムシ・ミミズ・昆虫類）

ダンゴムシが少し見られる程度であった。

8) 樹木医・ボランティアからのアドバイス

- ・ 昨年は幹にヒラタケ等のキノコ（真菌類）の発生が見られた。処置したため今年は見られなかった。桜を枯らす最大原因となる病害虫（クビアカツヤカミキリ、キノコ等）に注意し、見つけたら先生、樹木医に知らせてください。

- ・ 強い痛みやかぶれたりするイラガ類、マイマイガ類は触らないで、先生、樹木医に知らせてください。

- ・ 表層の硬い土は、少なくなりましたので、今後は、検地棒（40 c m）で、穴をあけるのに協力してください。

- ・ 枯れ枝、日が当たらない枝を剪定して SDG s に協力してください。

- ・ サクラフシアブラムシなど害虫類の中間宿主のヨモギは除草してください。

- ・ 生物多様性を阻害するオオキンケイギク、セイタカアワダチソウ、オオアレチノギクなど侵略的外来種は除草してください。

- ・ カモガヤ、ホソムギ、ネズミムギなどイネ科の花粉症を引き起こす外来種は除草してください。



観察測定



ヒロヘリアオイラガの食害

葉の裏に集中したヒロヘリアオイラガ

幹に広がるヒロヘリアオイラガ